

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室きらり戸田校		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 2日 ～ 2025年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年12月 2日 ～ 2025年 12月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	機能訓練指導員や児童支援に対する専門支援の充実。	作業療法の観点を用いた粗大運動や、マットやバランスストーン、タオル等を使用した支援を取り入れています。	より専門性を活かし、課題や困りごとに様々な角度からアプローチできるよう支援に努める。
2	教室の特性に合わせた環境設定。	人数や、こどもの特性に合わせた机の配置やパーテーションの位置を変えて、粗大運動ができるスペースを確保しています。	今後、こどもが集中して支援に取り組むことができるような補助器具の足台を増やすなど、よりよい環境調整に努める。
3	相談支援体制、連携機関体制ができていること。	フィードバック時には話しきれないことや、学校やご家庭の困りごとなど別途で面談の時間を取って対応しています。	相談や面談をもっと利用していただき、ご家族の不安感の軽減につながるよう、保護者の方々にも改めて周知をしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小集団支援（きらりひろば）の枠組みの設定。	イベントとしての支援だけではなく、個別療育と集団支援で繋がりを持って定期的に行えるような枠組みを作ることが必要。	きらりひろばを定期的に開催していくことで、個別では見えない課題が見れることで、よりよい支援につなげていくことができるので、祝日だけでなく平日開催を目指していく。
2	教室の狭さによる教材配置や支援方法。	工夫はしているものの、教室は狭く、隣のブースとの音が支援の妨げになってしまうこともある。場所に限りがあるので、支援方法も工夫が必要。	狭さを活かしつつ、お家でも活かせる療育という観点で支援を進め、場所や環境に制限があってもよりよくできる支援方法を検討していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室きらり戸田校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 20

回収数 20

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	6	1	1	・部屋の広さのわりに上手く活用できていると思います。 ・マンション1室の限られたスペースで有効活用されている。 ・身体を動かすプログラムを組んでいたためスペースは広い程良いと思う。 ・勉強机と体を動かせるスペースがあり、子ども達が好きな活動が出来るようになっています。	部屋の広さをなるべく確保でき、支援において十分なスペースが取れるよう今後も環境設定において工夫しながら対応していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	3	0	1		支援や面談に対応することができるよう配置を行っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	2	1	1	・プライバシーも安全性も確保されていない環境だと思います。音が全て漏れています。療育なので、広さが足りないの工夫が必要だと思います。 ・本人に分かりやすく構造化された環境だが、マンションの一室なのでどうしても階段や段差がある。	・どうしても支援中の声は聞こえてしまう場合はあると思うのですが、広さの確保を心がけつつ、外への音漏れに関しては環境調整と職員の対応の配慮を行い工夫していきます。 ・段差や階段はマンションの設備に関わりますので、管理人さんとも相談しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	2	1	3		こどもたちがよりよく過ごせるよう、心地よく過ごせる環境調整をさらに徹底してまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1	0	1	私の悩みなどヒアリングいただき、その対応をさせていただいているため。	温かいご意見ありがとうございます。親御さんのお悩みはもちろん特性に応じた支援ができるよう邁進してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	1		支援プログラムの内容の周知を進めていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	1		お子さんと保護者の方のニーズに合った支援計画の作成につとめます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	0	0	1		それぞれの項目に対して、具体的な支援内容を設定し、実施できるようにしていきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1	0	1	・少しだけ気になるのが、先生によりその日の対応がバラツキを感じる場合があります。それが悪いと言いたいのではなく、先週、今週でみたところで継続とならない点は効果あるのかと素朴な疑問があるため、この記載しました。※例えば、先週はこうして取り入れていたらとお話を受け、今週はそれがされてないなど ・先生により取り組み方が変わることがあります。それが悪いというわけではなく、先週、今週、次週と取組が繋がっているかが分かりづらく感じるときがあります。	貴重なご意見ありがとうございます。支援についての職員間での十分な情報共有と連携体制、また個々のこどものニーズに合わせた支援についての検討など、より一層徹底して対応していきます。継続的な流れを組んだ支援や、成長を感じることでできる支援につなげていけるよう、指導員一同で対応させていただきますので、今後とも忌憚ないご意見をよろしくお願いいたします。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	3	0	1	・指導員さんにもありますが、固定化されているように感じることもあります。	貴重なご意見ありがとうございます。お子さんによっては、繰り返しの支援プログラムが必要な場合もありますが、メリハリのある支援となるよう指導員一同で対応して参ります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	6	6	・こどもが園などに通っている？という質問なのか、きらりが園と関わっているか？という意味合いなのか、どちらか理解できなかったです。	現在の時点ではきらりに通っているお子さんと地域のお子さんとの関わる機会を予定してはいたのですが、職員が園の様子を伺い、様子を見て園との連携を取ることとは行っております。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	1		よりよく伝わるよう対応していきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	1		よりよく伝わるよう対応していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2	3	3		家族支援プログラムの一環としてパパママカフェの開催を行っておりますのでぜひご参加下さい。他にも市で行われる相談会などの情報も随時、校舎内に掲示させていただきますので、ご確認ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	17	2	0	1	・毎回フィードバックしていただくので支援内容を共有出来て助かっています。 ・LINEなどでこちらが困っていることなど親身にご対応いただいております。	ご意見いただき、ありがとうございます。毎回のフィードバックや、LINEでの対応はもちろんのこと、引き続き何かあればいつでもお伝えいただければ幸いです。フィードバックでは限られた時間となりますので、モニタリング時にも合わせてしっかりと共通認識をはかっていければと思います。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	3	0	1	・良い所や頑張っていた所教えてもらえるのはとてもありがたいのですが、課題点や家で試してみた方が良い事等あれば積極的に教えてほしいです。	ご意見ありがとうございます。現在の課題点だけでなく、どういった力につなげていくかやご家庭で取り組んでもらえることについてもお伝えできるよう、指導員間で対応して参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	1		保護者の方への共感、またお悩みに寄り添った対応ができるように対応していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	8	2	3		きらりひろば(小集団)は今後も開催していきますので、定員がある為難しい場面もあるのですが、より多くの方にご参加いただけるよう、早めのお声がけができるよう対応していきます。/リバマカフェの開催も行っておりますのでぜひご参加下さい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	4	0	1		いつでもご家庭での困りごとや園での出来事について相談はできるのと、実際に利用して下さるご家庭もありますので、皆さんに周知し、対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	1	0	1		適切な情報伝達や意思の疎通が図れるよう、定期的な面談やご家庭や園の様子など何わせていただきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	4	0	2		インスタグラムとブログを行っております。支援の様子やイベントの様子を掲載しておりますので、ぜひご確認ください！
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	2	1	1	・支援の最後に保護者サインを記入する時、他の利用者の名前が見えてしまっている時がある。 ・SNSに載せる際には必ず載せていいのか確認してくれます。	個人情報の取り扱いに関してましては、十分に配慮して対応していくよう、共有しておりますが、改めて職員間でも徹底して対応して行きます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	4	0	5		各マニュアルも策定しており、訓練も実施しているため、校舎内掲示の他に全体に周知できるよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	2	0	6		上記の点と重なりますが、訓練も実施しているため、校舎内掲示の他に全体に周知できるよう努めます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1	0	2		安全計画の周知を含め、安全に配慮した環境設定を徹底して支援にあたれるよう、支援や教材、配置の工夫を徹底して参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2	0	6		きらりで発生した事故やケガに関しては、すぐに保護者の方にご連絡するよう対応しております。今後も、起きた場合は、すぐにお伝えできるよう、より一層対応を徹底していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	1	行きたくないと言ったことがないくらい毎回来しみにしています。	お子さんが安心して楽しく通えるよう、引き続き職員一同よりよい支援を目指して参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	2	0	1	・先生方のことを家でも話したりしていて、楽しんでいるようです。 ・いつも楽しみに通っています。「行きたくない」等の行き渋り発言はしたことがありません。親としても気軽に相談できる場所のひとつとして、日頃の子育てに安心して向き合うことができています。 ・一時、楽しくなくなった瞬間はありましたが、大きな問題ではありません。理由も指導されたことでネガティブな気持ちになったことからのためです。	貴重なご意見と温かいお言葉ありがとうございます。今後もお子さんが安心して楽しく通うことができ、保護者の皆様の子育てに寄り添っていきけるよう職員一同邁進してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1	0	1		皆さんに満足いただけるよう引き続き、よりよい支援ができるよう精進して参ります。よろしくお願いたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
こどもサポート教室きらり戸田校		2025 年 2 月 14 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	限られた空間を最大限に活かし、工夫をしながら使用している。完全個室でない事、隣のブースとも近く音が漏れやすい為、気が散りやすいお子さんもいる。ブース内の位置などを変えたりして配慮に努めています。	狭いことも踏まえ、パーティションや椅子の配置やそもそもの数なども検討していき対応を行っていく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	人員はもう少し多く配置されているといいなと思うが、現在の人員でも運営ができるように負担感を考慮した業務分担をしています。	配置規定数は満たしているが、もう少し大人の目があるとよい。現在も工夫しているが、補填できるよう努めていく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	階段が急だったり、トイレ前の段差の高さもあったり、エレベーターが無いなどはあるが、安全に配慮しての声掛けは行いつつ、利用者の方々にも協力いただいています。	建物の構造上、変更が難しい点もあるが、手すりを付けるなどの対応を管理人さんが行ってくれたので、今後もできる限りの配慮を行っていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃、消毒に加え、壁紙の張替えも定期的に行うなどして工夫しています。	こどもが過ごす空間としての清潔さはもちろんのこと、感染症対策や、居心地の良さを考慮した配置の設定などを今後も検討していく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		完全個室とまではいかずとも、パーティションで場所を区切ることで、クールダウンのスペースを設ける工夫は行っています。	部屋の狭さもあり、十分なスペースとまではいかないこともあるが、こどもの特性に合わせて、安全を考慮した場所を提供できるよう引き続き対応を行っていく。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員間で活発に話し合う時間を設けて、情報の共有ができるようにしています。	状況共有をしっかりと記録に残し、共有だけでなく、きちんと業務に活かしていけるように今後も対応していく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		いただいたアンケートをもとに事業所評価会議を開き、改善点についての話し合いを行っています。	貴重な意見としていただいているので、しっかりと反映することができるよう改善点を具体的な対策に落とし込んで実行していきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		1on1を月1回で開催し、一人ひとりからのヒアリングを行っているのと、随時、話し合う機会を設けています。	話しを聞き、改善できるところはなるべく早く改善できるように努めてきたので、引き続き業務改善に向けて今後も対応していく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		現在は、社内での他校舎の指導員やユニット長やブロック長から評価を行っていただいています。	今後は、必要に応じた外部評価を実施していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		発達支援研究所の研修や、法定研修に参加する機会が確保されています。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムはHPにて公開済み。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		モニタリング、アセスメントを半年ごとに行い、適切に計画を作成しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		指導員の意見も反映される仕組みをとっています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		常に計画を意識した支援を行うように教材の選定や支援を行うようにしています。	支援計画に沿った支援ができているかどうかのプログラムや支援や関わりを含めて、職員間で検討し、対応をしていく仕組みを徹底していきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内共通のアセスメントシートを使用しています。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画の中で、5領域を支援内容に含めた目標を設定し、具体的な支援内容が伝わるように計画を立てています。	移行支援や地域支援・地域連携支援に関しては保護者の意向やご要望にあわせて対応していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個別支援計画をもとにし、専門職の指導員も含めて指導員間で検討しています。	職員間での柔軟な連携、仕組み化をして、よりよい活動プログラムの立案を目指します。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者によっては、同じプログラムを繰り返し行っていくことが必要な方もいらっしゃいますが、支援目標に合わせてニーズに沿ったに対応ができるようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		月1～2回できらりひろばを開催しています。また、年長さん向けに就学前支援プログラムを開催しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、朝礼を行い、1日の流れや前日の振り返りを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		最終の時間の後にはできないこともあるが、翌日の朝礼で情報共有は行っている。基本的には、その日のうちに職員間で振り返って、支援の検討を行っている。	最終卒の支援終了時に連絡事項に抜け漏れがないように職員間での共有は徹底していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援記録の記載は徹底し、支援の改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低でも半年に1回は保護者と対面でモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管や指導員が参加して、対応しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保育園、幼稚園、小学校との連携はおこなっていますが、現在、医療機関との連携は行えていません。	今後、医療機関とも連携を取ることも視野にいて、対応をしていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育園、幼稚園とは保護者のご希望があった場合は必ず対応し、こちらから連携を依頼する場合もあり、必要な家庭には相互に情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	小学校との連携はおこなえてはいませんが、市で開催している教育相談の情報提供を行っています。	今後はご希望があった際に対応ができるよう、就学先の小学校の情報や連携を検討していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	現在、児童発達センターとの連携をはかれておりません。	今後は児童発達センターとの連携を検討しているので、助言等をいただける機会を設けていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	事業所と園のや地域のこどもとの交流は現在のところはありません。	ご要望がないため行っておりませんが、地域交流が必要な際には積極的に取り入れて行きます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		フィードバック時に、お家での様子や園での様子などできる限りヒアリングさせて頂いております。	時間に限りがあるので、支援の共有で終わってしまうことがほとんどではあるので、園や家庭の様子で気になることなどもヒアリングして行けるよう努めます。

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ババママカフェの開催をしております。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や個別支援計画更新の際に重要事項説明書とあわせて説明をさせていただいております。	運営規定に関しては、随時、教室に掲示させていただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画作成の際に、保護者からのニーズとこどもの現在から必要な支援を踏まえた計画を作成し、確認をさせていただいております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		内容を説明させていただき、署名をいただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて保護者の方からの要望があった場合、支援以外の時間で別途面談や相談の時間を設けて対応しています。	より、気軽に相談をしていただけるよう周知をしていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		現在ではババママカフェや面談やモニタリング以外での保護者会やきょうだい同士のイベントは開催しておりません。	きょうだい同士の関わりが必要とのご要望があれば、今後検討していきますが、基本的には本人支援を中心に行っていきます。ババママカフェの周知を行っていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		ご要望があった際には、いつでも相談ができる体制は整えております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログとInstagramでの支援の様子の発信を行っております。	ブログの更新が止まっていた時期がありましたが定期的に更新を行っているので、周知していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いに関しては法令に則り十分に配慮して対応しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さんの特性に合わせた意思疎通の方法を工夫して対応しています。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	個別療育の為、行っておりません。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定し、毎月訓練を行っております。	教室内に、掲示周知を行っていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画の内容に沿った訓練を定期的に行っております。	教室内に、訓練の様子を掲示しております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		面談時やアセスメントの際に状況を把握させていただいております。	投薬の情報や対応の方法についても随時ヒアリングを行っておりますが、情報提供にご協力いただけるようこちらからも変更等の確認をしていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供はないので、指示書の対応はしておりませんが、把握はしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、必要に応じた社内研修への参加、事業所内での訓練を行っております。	指導員間でも常に安全管理を徹底して支援に当たるよう、環境調整等の配慮をしていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急連絡先一覧の作成、タイヤル171の導入等行っております。	事業所内に、掲示し、周知を行っていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを作成・共有し、再発防止に向けた検討をしております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待・身体拘束に関しての社内法定研修への参加をしております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に身体拘束が必要な場合についての対応について説明させていただいています。また社内研修にも参加しております。	措置が必要となった場合の適切な対応を指導員間でも徹底してまいります。